



はな さ じこく しゅるい 花の咲く時刻はなぜ種類によってちがうの

はな さ じこく しょくぶつ 花の咲く時刻は、植物によってまちまち

はな にちじゅうさ あさ さ はな ひる さ はな よる さ はな にち き
花には一日中咲いているもの、朝に咲く花、昼に咲く花、夜に咲く花と、一日でも決まっ
た時刻にしか咲かないものが多いです。咲く時刻と咲いている時間がなぜ決まっている
のか、はっきりしたことは、まだわかっていないものが多いです。花と虫の関係が、こ
のような性質を生じさせた原因ではないかと考えられています。

はな さ じかん じゅぶん たす こんちゅう かつどうじかん かんけい 花の咲いている時間は、受粉を助ける昆虫の活動時間と関係があった

しぜん ふか かか せいかつ なか しょくぶつ こんちゅう おむかし
自然はいろいろなものと、深い関わりをもって生活しています。中でも、植物と昆虫は大昔
からの深いつきあいで、たがいに都合のいい生活の仕方を身につけたと考えられます。虫は
えさとして、はな がふん はな じゅぶん たね ができません。花
は受粉を助けてもらう虫のため、虫の形に合わせたり、虫の活動時間に花の咲く時間を合
せてきたと、かんがえられるものがあります。たとえば、ゆうがた さ
夕方になると、スズメ
ガがよく来ます。

げっかびじん はな よる じ まんかい はな げんさんち ねったい よると
月下美人の花は、夜の10時ころ満開になる花ですが、原産地の熱帯アジアでは、夜飛ぶ
コウモリが受粉を助けているという、しょうこ わ
証拠らしきことも分かってきました。もっともっと、
ふか けんきゅう かんさつ すす かんけい わ
深く研究と観察が進めば、はっきりした関係が分かることでしょう。

(監修・中山 周平)

